



横浜市泉区更生保護だより

明るい社会

令和2(2020)年 2月

題字揮毫・林 文子横浜市長

編集・発行
 横浜市泉区更生保護協会
 会長(区長) 額田 樹子
 横浜市泉保護司会
 会長 安西 和之
 横浜市泉区更生保護女性会
 会長 奥津 倫子
 〒245-0023
 横浜市泉区和泉中央南5-4-13
 泉区社会福祉協議会内
 電話 045-802-2150
 FAX 045-804-6042

「安心・安全なまちづくりをめざして」

泉保護司会・泉区更生保護女性会の皆様には、日ごろから更生保護活動はもとより、犯罪・非行防止活動をはじめ、青少年の健全育成・子育て支援など多くの活動に取り組まれていますことに、心から感謝申し上げます。



泉区長 額田 樹子

児童や高齢者の方を狙った犯罪が後を絶たない中で、誰もが安心して暮らせる安全なまちづくりが求められています。

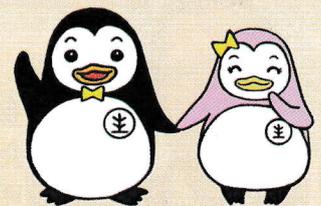
今年度実施した区民意識調査によりますと、「住んでいる地域について、取り組むべき課題として特に重要なものは何か」という設問に対し、「防犯に関する取組」と答えられた方は30項目のうち4番目に多く、区民の皆様の防犯に対する関心や期待の高さをうかがうことができます。

現在、泉区では自治会・町内会が中心となった自主防犯パトロールをはじめ、青少年への声かけや通学路の見守りなどの活動に地域の皆様が自主的かつ継続的に取り組んでいただいております。今後さらに、安心・安全なまちづくりを進めていくために、地域の皆様一人ひとりの御理解とお力添えをお願いいたします。

更生保護とは

犯してしまった罪をつぐない、社会の一員として立ち直ろうとするには、本人の強い意志や行政機関の働き掛けのみならず、地域社会の理解と協力が不可欠です。

保護司、更生保護施設を始めとする更生保護ボランティアと呼ばれる人たちの他、更生保護への理解と協力の下、関係機関・団体との幅広い連携によって更生保護は推進されています。



保護司とは…

罪を犯して保護観察を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのる他、時に助言も行う更生保護のボランティアで、法務大臣が委嘱します。

泉区では26人の保護司が活動しています。

更生保護女性会とは…

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティアです。現在泉区では177人が活動しています。



地域のチカラに期待を込めて



横浜保護観察所長 **三本松 篤**

泉区更生保護だより「明るい社会」をご覧になっている皆様、日頃から、更生保護の活動に御理解と御協力をいただいていることに、深く感謝申し上げます。

最近の犯罪をめぐる状況、特に再犯者の割合の増加を踏まえ、国は重点課題を定めて再犯防止推進計画を立て、国民が犯罪による被害を受けることを防止し、安全で安心して暮らせる社会の実現を図るため、様々な再犯防止のための

施策を実施しています。

中でも、出所後の就労先や適当な住居の確保、地方公共団体と連携した保健・医療・福祉の支援に必要な応じてつなげていく施策が注目されています。社会の中で居場所を確保し、孤立させずに社会復帰に必要な取組を息長く進めていくことが何より大切です。皆様方には、今後とも更生保護の活動を通じた、明るく住みよい地域社会づくりにお力を賜りますようお願い申し上げます。



犯罪のない安全で安心な街泉区の実現に向けて



泉警察署長 **小林 仁司**

泉保護司会、泉区更生保護女性会の皆様におかれましては、更生保護活動をはじめ様々な活動をなされ、明るい社会の実現に向けて取り組んでおられますことに対し、心から敬意を表するとともに御礼申し上げます。

さて、われわれ警察の責務の一つとして、被疑者の逮捕がありますが、再び同じ被疑者が罪を犯すことが大きな社会問題となっています。

同じ人に再び罪を起こさせないようにすることが犯罪のない明るい社会の実現のために必要不可欠ですが、それには皆様、関係機関と我々が共同して対応していかなければ実現することはできません。

お互いの責務は違いますが、「犯罪のない明るい社会」「安全で安心な街泉区」を作りたいという目的は一緒です。

目的の実現に向け、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。



明るい社会を目指して



泉区社会福祉協議会会長 **大貫 芳夫**

泉保護司会、泉区更生保護女性会の皆様には日頃より「社会を明るくする運動」等にご活躍を賜り感謝申し上げます。

誰もが安心して、自分らしく暮らせる社会をみんなで作ろうを合言葉に、地域の皆様にはいろいろのお立場でご協力をいただいています。

平成から令和と元号も変わり、社会情勢も少し落ち着いて進んでほしいと願うなか、大変衝撃を受ける二つの事件があります。

ひとつは、5月28日の朝、通勤や通学の時間帯

に、川崎の登戸駅近くで発生した通り魔事件で、2名が亡くなり18人の方が重軽傷を負いました。もうひとつは7月18日に発生した京都アニメーションスタジオにおける放火事件で、社員69名が被害に遭っています。どちらもなんの罪も落ち度もない方々が一瞬のうちに被害に遭っています。

私たちの身の回りでも、いつ何が起きるか予測が出来ませんので、地域の連携を深めて、犯罪のしにくい街作りに皆様とともに協力し支えあっていきたいと思っています。



「明るい社会」の実現と 「いつまでも住み続けたい街・泉区」を目指して

泉区連合自治会町内会長会会長 **馬場 勝己**

泉保護司会、泉区更生保護女性会の皆様には日頃より更生保護活動をはじめ、犯罪のない明るい社会の実現に向けてご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

親が我が子を、子が親を殺める悲惨な事件が、新聞やテレビで報道される度に心を痛めています。また、毎日のように高齢者を標的に特殊詐欺が横行しています。事件、事故のない平和な

毎日が訪れることを心から望みます。

「罪を憎んで人を憎まず」という言葉があります。私は性善説を信じています。罪を犯した人の更生を心から望みます。泉区内の各種団体が心をひとつにして更生保護活動や防犯活動に取り組む必要があると思います。

犯罪の無い「明るい社会」を実現し、「いつまでも住み続けたい街・泉区」を目指して参りましょう。



施設見学 **泉区更生保護女性会 「久里浜少年院」** 令和元年 6月13日(木)

久里浜少年院は、「犯罪に戻らない。戻さない立ち直りをみんなで支える明るい社会の実現を目指して」を目標に掲げて取り組んでいました。海に囲まれており、子どもたちにとっては良い環境の中で社会復帰のための生活活動指導を受ける姿がありました。



施設見学 **泉保護司会 「横浜地方検察庁」** 令和元年 11月6日(水)

みなとみらい線の日本大通駅前にある、横浜地方検察庁の見学に行ってきました。

検察庁の方の案内で模擬取調室、取調調書の保存書庫やいろいろな事件の証拠物件の見本を見ながら説明を受けました。最後にビデオを見ながら検察官から具体的な話しもあり、事件・事故には多くの方々関わっていることを理解することが出来ました。



泉区更生保護女性会主催研修 **「少年院の現状について」** 令和元年 12月11日(水)

泉ふれあいホームに於いて、久里浜少年院院長長島寿勝氏をお招きして、第3回研修会を行ないました。保護司、更生保護女性会会員を含めて45名の参加がありました。

少年院は、家庭裁判所の決定により保護処分として送致された少年を収容する法務省所管の施設です。久里浜少年院は、非行程度の特に深い少年、外国人(日本語を話せない人)等を収容、年齢は12~20才までで、少年の更生と社会復帰を図っています。しかし、現実では格差(困っている人)が見えなくなったり、また誰でも被害者・加害者になりうる世の中。切り捨てではなく再チャレンジできる社会を作り出すことが、再犯防止になると言う事を、院長のユーモアを交えながらのお話であったという間の研修会でした。



第69回社会を明るくする運動

第69回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～の推進に当たってのお願い

“社会を明るくする運動”は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。

安全で安心な国づくりのためには、犯罪や非行からの立ち直りに取り組む人たちを再び地域に受け入れ、地域の中で適切な「仕事」や「居場所」を確保することなどにより、責任ある社会の一員となるよう支え、誰もが「RE:スタート」できる社会を構築することが重要です。

こうした更生保護の取組には長い歴史があり、本年、更生保護制度が施行されて70周年を迎えます。再犯の防止等の推進に関する法律に基づき策定された「再犯防止推進計画」をさらに着実に実施し、再犯防止に向けた取組を強力に推進するためには、更生保護の諸活動を一層充実させることが重要です。

国民の皆様には、“社会を明るくする運動”と再犯防止に向けた取組の社会的意義を御理解いただき、犯罪のない幸福な社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福(しあわせ)の黄色い羽根」のもと、様々な分野から、多くの方々に御参加いただきますよう御協力をお願いします。

平成31年2月26日

内閣総理大臣 **安倍晋三**

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～ 「社会を明るくする運動」泉区での取り組みを紹介します。

生徒指導専任教諭と保護司・更生保護女性会等との懇談会

6月25日(火)



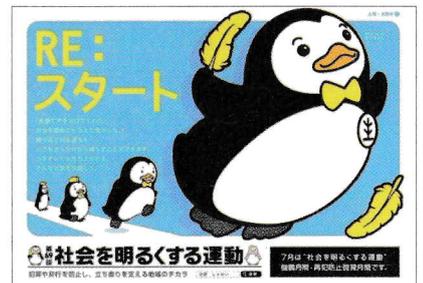
泉保護司会・更生保護女性会では、青少年の健全育成のために中学校と話し合いを持ち、日頃の学校の様子などについて意見交換をおこないました。社会を明るくする運動に作文コンテストを通じて参加していただけるよう依頼等も行っています。



街頭啓発活動

- 7月3日(水) いずみ野駅前・いずみ中央駅前
- 7月4日(木) 緑園都市駅前(中田駅前と立場駅前は荒天のため中止)
- 11月3日(日) 泉区民ふれあいまつり

保護司、更生保護女性会会員、泉区役所と地域の民生委員児童委員等、多くの方々のご参加をいただき「社会を明るくする運動」が地域の皆様に理解が得られるように活動のお知らせやうちわの配布を今年も行いました。



▲ 第69回社会を明るくする運動ポスター

泉区集会

7月26日(金)

第69回「社会を明るくする運動」泉区集会が泉区役所にて開催されました。昨年の作文コンテストで受賞した方の発表がありました。講演会では児童を養育者の家庭に迎え入れて子育てを行う「ファミリーホーム」のホーム長であるパング希江氏に「家庭で生活することができない子どもたちへの養護と支援」についてお話していただきました。

自分の家庭で子どもを受け入れようと思ったいきさつや養護施設と家庭での養育の違いなどいくつも例をあげて話され、もっとたくさん子どもたちを預かる家庭が増えることを願っているとのことでした。普通に食事ができ、布団で寝られることがどんなに幸せなことなのかを強く感じさせる内容でした。



泉区民ふれあいまつり

11月3日(日)



「第10回区民ふれあいまつり」が盛大に開催されました。保護司会は犯罪や非行のない明るい社会を願い「社会を明るくする運動」の啓発活動としてチラシを配布しました。また、更生保護女性会はバザーの開催と手作りのおしるこを販売しました。

この収益は子育て支援事業の他、更生保護施設など立ち直ろうとしている人たちの支援に使われています。



社会を明るくする運動作文コンテスト

小・中学生に、社会を明るくする運動に対する理解を深めてもらうことを目的として、実施しています。754点の応募の中から、下記小学校の部の1名の方は県推進委員会から表彰されました。

小学校の部

(1) 優秀作品

| | 学校名 | 学年 | 氏名 |
|--------|--------|----|--------|
| 神奈川県佳作 | 岡津小学校 | 6年 | 土肥 紫 織 |
| 最優秀賞 | 緑園東小学校 | 6年 | 井上 結衣 |
| 優秀賞 | 和泉小学校 | 6年 | 矢嶋 茉白 |
| 優秀賞 | 岡津小学校 | 6年 | 石井 隼貴 |
| 優秀賞 | 岡津小学校 | 6年 | 出 永 陽翔 |
| 優秀賞 | 岡津小学校 | 6年 | 土肥 孝展 |
| 優秀賞 | 葛野小学校 | 5年 | 伊藤 優那 |
| 優秀賞 | 東中田小学校 | 6年 | 長澤 史佳 |
| 優秀賞 | 東中田小学校 | 6年 | 早坂 雪菜 |
| 優秀賞 | 東中田小学校 | 6年 | 太田 寛佳子 |

(2) 応募状況

| 学校名 | 応募数 |
|------------|-----|
| 飯田北いちよう小学校 | 1 |
| 和泉小学校 | 60 |
| いずみ野小学校 | 0 |
| 伊勢山小学校 | 7 |
| 岡津小学校 | 82 |
| 上飯田小学校 | 83 |
| 葛野小学校 | 17 |
| 下和泉小学校 | 4 |
| 新橋小学校 | 93 |
| 中田小学校 | 35 |
| 中和田小学校 | 39 |
| 中和田南小学校 | 0 |
| 西が岡小学校 | 0 |
| 東中田小学校 | 19 |
| 緑園西小学校 | 4 |
| 緑園東小学校 | 57 |
| 合計 | 501 |

中学校の部

(1) 優秀作品

| | 学校名 | 学年 | 氏名 |
|------|---------|----|-------|
| 最優秀賞 | 中和田中学校 | 2年 | 安西 望香 |
| 優秀賞 | いずみ野中学校 | 3年 | 岡田 瞳 |
| 優秀賞 | 上飯田中学校 | 3年 | 市古 茉愛 |
| 優秀賞 | 中和田中学校 | 2年 | 羽鳥 瑞月 |
| 優秀賞 | 中和田中学校 | 2年 | 宮澤 拓己 |
| 優秀賞 | 中和田中学校 | 2年 | 境 涉 |
| 優秀賞 | 中和田中学校 | 2年 | 小林 彩菜 |
| 優秀賞 | 中和田中学校 | 2年 | 三枝 藍香 |
| 優秀賞 | 中和田中学校 | 2年 | 白岩 涼那 |
| 優秀賞 | 中和田中学校 | 2年 | 當銘 真歩 |

(2) 応募状況

| 学校名 | 応募数 |
|---------|-----|
| 泉が丘中学校 | 2 |
| いずみ野中学校 | 14 |
| 岡津中学校 | 1 |
| 上飯田中学校 | 10 |
| 中田中学校 | 27 |
| 中和田中学校 | 188 |
| 領家中学校 | 9 |
| 汲沢中学校 | 2 |
| 合計 | 253 |

小学校16校501点
中学校8校253点
合計24校754点



「笑顔あふれる泉区」

岡津小学校 6年 土肥 紫織

明るい泉区にするために私には何が出来るのか、数十年後にはどんな泉区になってほしいのかを考えてみました。

私は明るい泉区にするために、一番大切だと思うのは「人を想いやる心」ではないかと思いました。

なぜそう思ったのかと言うと、よく母から聞いていた私がまだ小さいころの話を思い出したからです。

私の家は、坂の上にあります。私はまだ0才でベビーカーに乗っていて、2才になる前のお姉ちゃんは歩いていました。スーパーで買い物をした帰り道、家の近くの坂道をいよいよ登ろうとしたとき、とうとうお姉ちゃんは抱っこしてほしいと泣き出したそうです。しかしベビーカーには私がねていて、たくさんの荷物も後ろにかかっていた。母は重たいベビーカーを押して、お姉ちゃんをだっこしようとした時、見ず知らずのおばさんが「私がベビーカーを押すので、お母さんはお姉ちゃんを抱っこしてあげてください。」とやさしく声をかけてくれたそうです。しかも、おばさんは「私は手が空いているから、あたりまえでしょ。」と笑顔で言ってくれたそうです。母はとても助かったようで、私達姉妹に何度もこのこの話をしています。そして、こまっている人にやさしく声をかけて手を貸してあげられる人になろうね、と言っていたことを思い出しました。

実際私も、少し前に足をケガして入院していました。しばらくギプス生活が続き、ふだん一人で出来る事が出来ずに、少し不自由でした。思うように動けなくて、好きなことが出来ずにつまらなくてさみしい気持ちになってもおかしくないのに、家族や看護師の方にはげましてもらったり、学校では先生方やお友達にもたくさんのサポートをしてもらい「大丈夫?」「痛くない?」とやさしく声をかけてもらいました。落ちこむどころか、気が付けば私の心はとっても幸せな気持ちであふれていました。

このように私もまわりにいる人達にたくさんの温かい言葉をかけてもらって、助けられたことがあり、それがとても心の支えとなったので、自分もあいてのことを考えて、声をかけてあげられる人になりたいと改めて思いました。

この泉区全体が、今となりで、こまっている人に、おたがいに声をかけ合える社会になると、最近よく耳にするぎゃく待事件や非行に走る人も少なくなるのではないかと思います。当たり前やさしさをあたえられる人たちがたくさん増えて、笑顔あふれる泉区になると明るい泉区につながるのではないかなと思いました。



「明るいあいさつ」

緑園東小学校 6年 井上 結衣

学校の授業で「明るい町にするためにどうすればよいか」について考えるというものがありました。私は「明るい町」である町とはどういう姿なのか、考えていました。そこで、そういうことを意識して過ごしてみると気づいたことがありました。

毎朝、学校に登校する途中の道にいつも立ってあいさつをしてくれるおじいさんがいます。私が小学校に入学してから、今日まで毎朝あいさつを交わしていたので、私の習慣のようになっていて余り意識していませんでしたが、おじいさんは晴れの日はもちろん、少し雨が降っている日も立っていることに気が付きました。おじいさんはそれを自主的に行っているのです。また、おじいさんが立っていない日はなんとなくすっきりしません。それだけおじいさんの存在は大きかったのです。私はあいさつひとつでも、とても重要なんだと実感しました。他にも登下校の途中の道に毎朝、先生方が立っていてくれています。私たち児童が安全に通学できるように温かく見守ってくれます。私は出会ったことはないのですが、夜に自治会の方々がパト

ロールをしてくれているそうです。さらに、公園を自主的にそうじをしてくれている方や、行事で手伝いをしている方などを挙げ出したらきりがありません。私が何事もなく生活できているのは、そういう方々の思いやりのおかげなのです。地域の思いやりの下で子供たちは安全に遊んでいます。「明るい町とはなんだろう」という問いの答えがこの緑園の町ではないかと思うようになりました。そこで、私が緑園のまちのために、地域の方々のためにできることはあるのでしょうか。私は、地域の方々の「子どもたちの元気なあいさつを聞くと自分も元気がでる。」というお話を聞いたことがあります。だから、今の私ができることというのは、元気にあいさつをするということではないのでしょうか。私は友だちと話をしているときに、相手の声が暗いとなにかあったのかなと心配になります。逆に、相手の声が明るくはずんでいると嬉しいのかなと、こちらまで良い気持ちになります。地域の方々に日々の感謝を伝えるために、明るい声であいさつをするということを心に留めておきたいです。

私は中学生になったら、東京に引っ越します。あと半年、町全体に広まるように積極的に取り組みたいです。

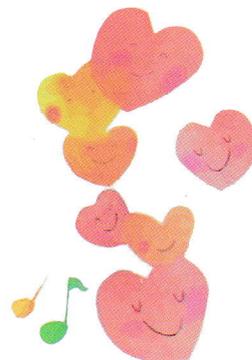


「感謝を伝えるあいさつ」

中和田中学校 2年 安西 望香

犯罪や非行のない明るい社会を作るために大切なことは、どんなことだろうか。私は、一人一人が社会の一員であることを自覚し、地域のより良い雰囲気をつくりだすことだと思ふ。地域の明るく温かい雰囲気が犯罪や非行の起こしにくくなるから考えるからだ。私がこう考えるきっかけは小学生のときにした、ある体験だ。

私が小学校へ行くとき、毎日のように通学路に立ち、私達生徒の登校を見守ってくれる地域の方達がいた。大雨の日や真夏の暑い日も「気をつけてね。」「いってらっしゃい。」と温かいことをかけてくれたり、生徒全員とハイタッチをして、見送ってくれる人もいた。学校へ行くのが億劫に感じるときも地域の人と会い、「頑張つてね。」とエールをもらうことで、前向きな気持ちをもって学校へ通うことができた。妹が小学校へ入学した今、地域の方の見守り活動がとてもありがたく、心強く感じている。けれど、見守ってくれている地域の方がしてくれているあいさつに対し、元気にはっきりとあいさつを返している生徒があまりいないことに気がついた。ふりかえてみると私も、声が小さかったり、元気のないあいさつをしてしまったことがあった。地域の方に対し、失礼な態度をとっていたと思う。それと同時に、地域の方は私たちのことを気にかけて、やさしく見守ってくれているのに、その思いに何も返すことができていないのではないかと思った。ではなぜ、元気にあいさつをすることができなかつたのだろう。私は、周りに元気なあいさつをしている人が誰もいなかったから、目立ちたくなくてできなかつたのだと思う。そして、周りの人も、きっと同じように考えていたのではないか。私はあいさつすることは地域の方に感謝を伝えることになると思う。あいさつができない人でも感謝の気持ちを伝えているかと思えば、少しでもあいさつをしやすくなると思う。私がいさつを明るく元気にできたときは良い気持ちで一日を過ごすことができた。あいさつをすることは一日を明るくはじめ、気持ちよく一日を過ごすことにもつながる。逆に、誰かに笑顔であいさつをしてもらった日は嬉しく、一日をはじめることができた。あいさつは、する人、返す人それぞれが少し幸せを感じることができる。それがたくさん増えていけば、地域の良い雰囲気をつくることにつながり、犯罪や非行が起きにくい社会をつくることのできるのではないか。また、挨拶は継続することが難しくないで、良い環境が続きやすいと思うのだ。知らない人ともできるあいさつは、人と人のよい雰囲気を広げることも簡単だ。一人一人がいさつを心がけることが、犯罪や非行のない明るい社会をつくることにつながる、そして、それは私達が社会の一員であることを自覚し、行動すればできることだと思ふ。



令和元年度 泉保護司会受彰者(敬称略)

- 関東地方更生保護委員会委員長表彰
石田 征史、田中 均
- 関東地方保護司連盟会長表彰
石井 利宗
- 神奈川県知事感謝状
源波 正保
- 横浜保護観察所長表彰
小山 孝夫、土屋 幸二
- 横浜市長感謝状
塚田 芳晴
- 横浜市保護司会協議会会長表彰
石田 征史、佐々木 敏、水戸 将史、
石井 利宗、田中 均

令和元年度 泉区更生保護女性会受彰者(敬称略)

- 法務大臣感謝状
奥津 倫子
- 関東地方更生保護女性連盟会長表彰
榎本 ミイ
- 横浜保護観察所長感謝状
鎌滝たみ子、新村 夏枝
- 神奈川県更生保護女性連盟会長表彰
永井 万恵、市川千栄子
宇都宮信子、高橋 久子
- 横浜市長感謝状
萩野 陸子、坂本由美子
- 横浜市会議長感謝状
埜渡サチ子
- 横浜市更生保護女性連盟会長表彰
石川 ミキ、大木 洋子、家崎 邦子
川島 昭子、泉澤 春美
- 神奈川県共同募金会会長表彰
横山美枝子、立平チエ子、武井 久恵

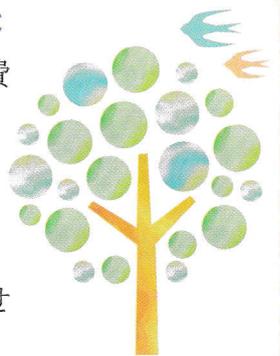
＊ 令和元年度更生保護協会会費及び助成金 協力お礼 ＊

連合町内会単位または自治会町内会から、合計947,700円の会費を頂きました。

また、下記団体から合計40,000円の助成金を頂きました。※敬称略

【横浜泉ライオンズクラブ、横浜泉ロータリークラブ、泉防犯協会、泉企業防犯連絡会】

社会を明るくする運動や保護司会・更生保護女性会の活動等に役立たせていただきます。



●●●●「明るい社会」編集委員 ●●●●

| 泉 保 護 司 会 | | 泉 区 更 生 保 護 女 性 会 | |
|-----------|-------------|-------------------|------------|
| 会 長 | 安西 和之(副委員長) | 会 長 | 奥津 倫子(委員長) |
| 副 会 長 | 佐藤 摩理子 | 副 会 長 | 内藤 トモエ |
| | 内藤 光雄 | | 市川 千栄子 |
| 常務理事 | 神田 文雄 | 広報部長 | 池田 邦代 |



編 集
後 記

令和元年度の明るい社会を発行することができました。泉保護司会、泉区更生保護女性会の活動が少しでも皆様に伝わればうれしく存じます。また、保護司の活動へ関心のある方は事務局までご連絡いただけると幸いです。